企画セッション

◆ コンテンツと地方創生 ◆

【概　要】

内閣府知的財産戦略本部が 2025 年 6 月 3 日に発表した「知的財産推進計画 2025」に「2023 年の日本のコンテンツ産業の国内外の市場規模は国内 13.3 兆円、海外展開 5.8 兆円で半導体産業より大きく日本の基幹産業と言える。2033 年までにエンタメ・コンテンツ産業の市場規模を 20 兆円にする。」と記載された。また、同年 6 月 13 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2025」（骨太方針 2025）でもコンテンツ海外展開の一貫的な支援や体制整備を進め「コンテンツと地方創生の好循環プラン」に基づき、コンテンツ地方創生拠点を選定し、アニメツーリズムやロケ誘致など、地域が一体となった取組を加速する。との目標が掲げられた。

そこで、この企画セッションでは「コンテンツと地方創生」にスポットをあて、映像コンテンツ製作に係わる法律業務、権利処理のスペシャリストで、映画「るろうに剣心最終章 The Final／The Beginning」　Netflix ドラマ「サンクチュアリ−聖域−」等の製作にも携わった弁護士が「映像制作のロケ地・舞台における権利処理の問題と法的な留意点」をテーマに、韓国コンテンツの市場拡大に伴う訪韓コンテンツ観光の現状に明るい韓国人研究者が「韓国コンテンツによるコンテンツ誘発型観光および地域活性化」をテーマに、映像作品ロケ誘致の振興策の一つであるインセンティブ政策に詳しい米国映画協会　日本支社、マネージング・ディレクターが「映像作品ロケ誘致とインセンティブ政策」をテーマに、それぞれの視点で法的な観点からの留意点、訪韓コンテンツ観光の現状、ロケ地誘致による国内産業への裨益などを解説する。

以　上

企画セッション

◆ コンテンツと地方創生 ◆

【講演者】

司会： 柴野相雄　　TMI 総合法律事務所　パートナー弁護士

講演⑴ 中山茂　　TMI 総合法律事務所　パートナー弁護士
テーマ：「映像制作のロケ地・舞台における権利処理の問題と法的な留意点」

講演⑵ 河承希（ハスンヒ）韓国国際文化交流振興院 東京通信員
法政大学大学院博士課程
テーマ：「韓国コンテンツによるコンテンツ誘発型観光および地域活性化」

講演⑶ 村上裕之　モーションピクチャー・アソシエイション・ジャパン
マネージング・ディレクター
テーマ：「映像作品ロケ誘致とインセンティブ政策」ロケ誘致による産業への裨益

以　上